

住宅用家屋証明申請書 兼 証明書

＜記入例＞ 建築後使用された
ことのあるもの（中古住宅）
※特定の増改築等がされた家屋
で宅地建物取引業者から取得し
たもの以外

租税特別措置法施行令

- 1条
認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外
(イ)新築されたもの
(ロ)建築後使用されたことのないもの
認定長期優良住宅
(イ)新築されたもの
(ロ)建築後使用されたことのないもの
認定低炭素住宅
(イ)新築されたもの
(ロ)建築後使用されたことのないもの
(ロ)第42条第1項（建築後使用されたことのあるもの）
(a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた
家屋で宅地建物取引業者から取得したもの
(b) (a) 以外

特定の増改築等がされた家屋で宅地建物取引業者から取得
したもの以外の中古住宅は（ロ）の（b）に○をする。

のである旨の証明を申請します。

年 月 日

申請者 住所 福山市〇〇〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

持分があれば持分を記入
持分 〇分の〇

氏名 福山 太郎

代理人 住所 福山市〇〇〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申請者本人が来庁する
場合は代理人の記入は
不要

氏名 広島 次郎

所在地	福山市〇〇 町 字 〇〇〇〇 番地	登記(全部)事項証明書のとおり	
家屋番号	〇〇〇〇番		
建築年月日	〇〇年 〇月 〇日		
取得年月日	〇〇年 〇月 〇日	原因証書による	新耐震基準に適合している こと(昭和57年1月1日以降 に建築された家屋) (※昭和56年12月31日以前に 建築された家屋で耐震基準適合 証明書等、耐震性があることを 証する書類のあるものを除く)
取得の原因	(1)売買 (2)競落	登記原因をどちらか○	
申請者の居住	(1)入居済 (2)入居予定	住民票による	
床面積	1階 〇〇. 〇〇㎡ 2階 〇〇. 〇〇㎡	登記(全部)事項証明書のとおり	
区分建物の耐火性能	(1)耐火又は準耐火 (2)低層集合住宅	区分建物の場合のみどちらかに○	
工事費用の総額	円	(ロ)(a)の場合に記入)	
売買価格	円	(ロ)(a)の場合に記入)	

上記のとおり相違ないことを証明します。